清瀬市公有地境界・行政境界用
（土地境界図記入例）

（注）
※　縮尺は、原則として1／250とする。
※　用紙は、原則としてA3サイズとする。

土地境界図、行政境界図 または、現況実測図					
土　地　の 所在・地番	清瀬市	丁目	番	ほか	縮尺（A3） 1/250

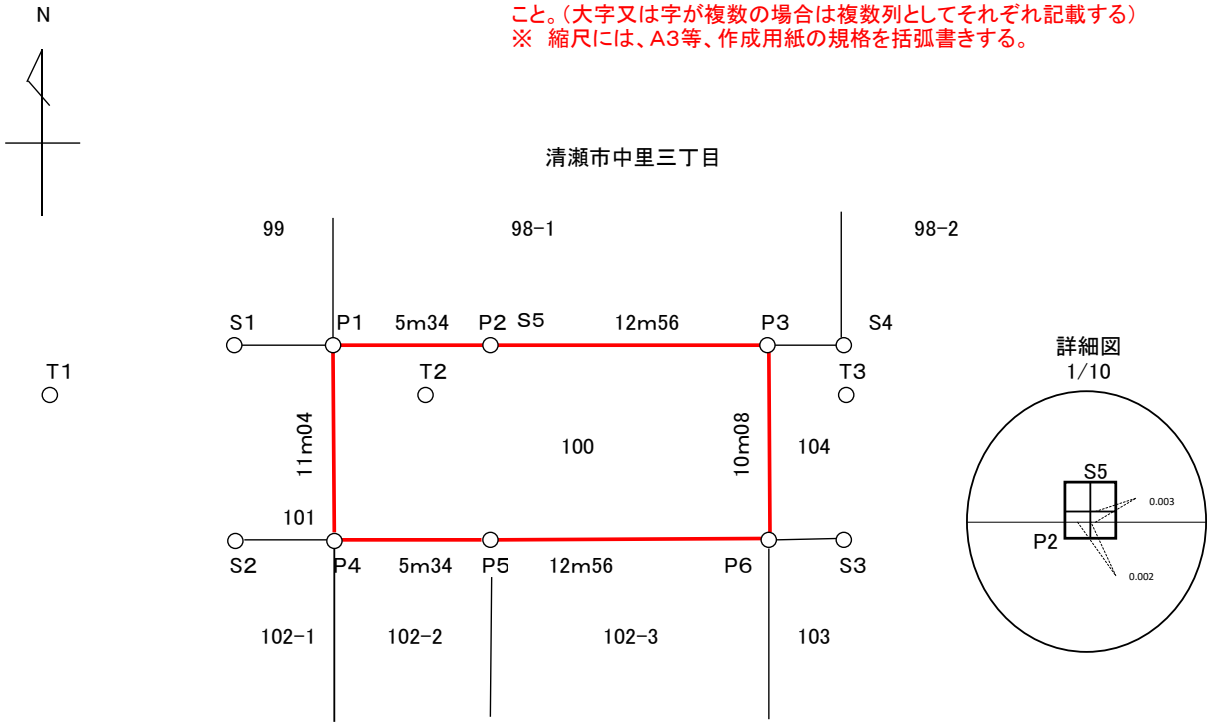
（注）タイトルは以下の当てはまるものにする。

※　**現況実測図**・・・公有地境界確認申請、公有地境界証明願、
行政境界確認申請、行政境界証明願の添付書類
※　**土地境界図**・・・公有地境界確認の立会後の成果品

（注）
※　合意した土地所在地番が複数ある場合は「ほか」を忘れずに書くこと。（大字又は字が複数の場合は複数列としてそれぞれ記載する）
※　縮尺には、A3等、作成用紙の規格を括弧書きする。

符　号	X座標	Y座標	備　　考
P1	○○.○○○	○○.○○○	既設市石標
P2	○○.○○○	○○.○○○	計算点
P3	○○.○○○	○○.○○○	新設市金属標
P4	○○.○○○	○○.○○○	既設市石標
P5	○○.○○○	○○.○○○	既設鋲
P6	○○.○○○	○○.○○○	計算点
S1	○○.○○○	○○.○○○	既設民石標
S2	○○.○○○	○○.○○○	既設鋲
S3	○○.○○○	○○.○○○	既設鋲
S4	○○.○○○	○○.○○○	既設民石標
S5	○○.○○○	○○.○○○	既設民石標
T1	○○.○○○	○○.○○○	新設鋲
T2	○○.○○○	○○.○○○	新設鋲
T3	○○.○○○	○○.○○○	既設鋲
10A30	○○.○○○	○○.○○○	金属標（測地成果2000）
2A100	○○.○○○	○○.○○○	鉄鋲（測地成果2000）

（注）
※　石標、金属標の形状は図面記載方向を基準に現形を記載する。（北上ではない）
※　石標、金属標の既設、新設の別を記載する。
※　多角点の世界測地系等（測地成果2000又は2010）を使用した場合はその旨記載する。



（注）
※　地番を記載する。
※　P点間距離は少数点以下3位切捨てとし、「○○m○○」と記載する。
※　境界線は朱書きにする。
※　境界点や引照点が図面上で分かりづらい場合、詳細図を記載する。
※　適宜、周辺の状況が分かるように付近の地形、構造物等を記載する。

凡例		
	○　Pn	境界点
	実形または○Sn	引照点
	○　Tn	多角点
	○○m○○	境界辺長

境界確定日は空欄にしてください。
現況実測図の場合は、境界確定日の欄は記載不要。

作成者	清瀬市中里五丁目842番地 ○○測量（株）　測量士　清瀬　太郎 職印　または　印			
測量年月日	令和	年	月	日
境界確定日	令和	年	月	日

（注）
※　測量年月日は、境界標設置日等を記載すること。
※　現況実測図の場合は、境界確定日の欄は記載不要。